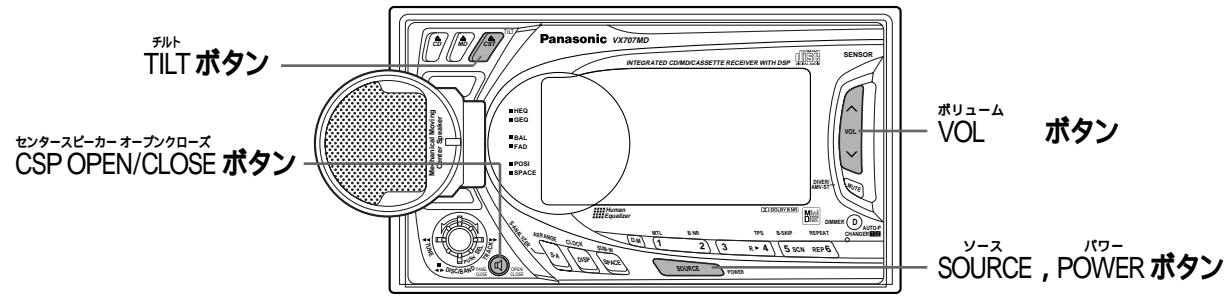


共通操作



電源を入れる

本機を操作する前に、車のエンジンスイッチを“ACC”または“ON”にしてください。

POWER ボタンを押す。

- 初めてご使用になるときはラジオを受信し、デモモードを表示します。

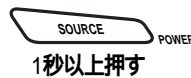


お知らせ

デモモードでは操作ができないことがありますので、デモモード以外のスペアナ表示に切り替えてください。(P.46 参照)

電源を切る

POWER ボタンを1秒以上押す。



お知らせ

車のエンジンスイッチを切ると、操作パネルが自動的に全閉します。

聴きたいサウンドソース（音源）を選ぶ

SOURCE ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、次のように切り替わります。[初期設定：TUNER]



VX707				VX505		
TUNER	CD	MD	TAPE	TUNER	CD	MD
AUX IN	DVD IN	CHANGER		AUX IN	DVD IN	CHANGER

お知らせ

- 本機にディスクやテープが入っていないとき、チェンジャーが接続されていないときやチェンジャーにマガジンが入っていないときは、そのソースに切り替わりません。
- DVD IN は、ソース設定をしないと切り替わりません。(P.55 参照)
- AUX IN をご使用にならないときは、ソース設定で切り替わらないようにすることができます。(P.55 参照)

音量を調整する

調整した音量（ボリューム）は、サウンドソースごとにメモリーされ、サウンドソースを切り替えると音量も変わります。インテリジェントボリューム機能 [調整範囲：0～40]

VOL ボタン または VOL ボタンを押す。

VOL ↑ : 音量が上がる。

VOL ↓ : 音量が下がる。

(押し続けると、連続して変化します。)



お知らせ

音量は、D.J エンコーダーを回して調整することもできます。(P.51 参照)

注意



可動部に手・指や異物を入れない

可動部に手・指や異物を入れると、けがや故障の原因になります。

お願い

操作パネルやセンタースピーカーは電動開閉します。手で動かしたり、押さえた状態で操作しないでください。

操作パネルの角度を調整する

操作パネルの角度調整で表示が見やすくなり、センタースピーカーの上下の向きも調整できます。[8段階]

操作パネルの TILT ボタンを1秒以上押す。

- ボタンを1秒以上押すごとに、操作パネルの角度が変わります。チルト機構



お知らせ

調整した操作パネルの角度はメモリーされるので、次回電源を入れたとき、前回調整した位置まで自動的に開きます。

センタースピーカーを開いて音を聴く

センタースピーカーを開くと音像が前方の中心付近に定位します。ヴォーカル等の中音域がはっきり聴こえるように出力を調整してご使用ください。(P.42～43 参照)

操作パネルの CSP OPEN/CLOSE ボタンを押す。

- 押すごとに、次のように切り替わります。[初期設定：CSP CLOSE]

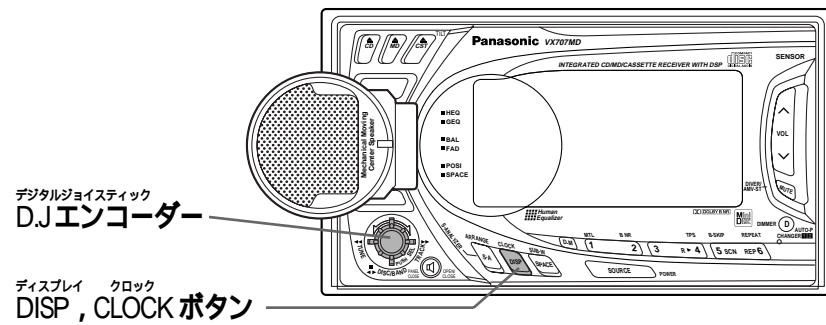


▶ CSP CLOSE : センタースピーカーが閉じたままで、音声を出力しない。

└ CSP OPEN : センタースピーカーを開き、音声を出力する。

お知らせ

- センタースピーカーを閉じていても、操作音（ボタンを押したときに出る音）は出力されます。(P.51 参照)
- センタースピーカーは設定（OPEN/CLOSE）に関わらず、操作パネルの開閉と連動します。
- センタースピーカーは、モノラル出力です。



時計を調整する

時計は24時間表示です。

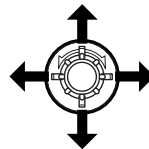
① CLOCK ボタンを2秒以上押して、時間調整モードに切り替える。

- 時間表示が点滅します。
(初めて調整するときは、“ADJUST”の表示が点滅します。)



② D.J エンコーダーを上下左右に倒して、調整する。

- ← : 時間の調整になる。 ● 時間表示が点滅します。
- : 分の調整になる。 ● 分表示が点滅します。
- ↑ : 時 / 分が進む。
- ↓ : 時 / 分が戻る。



③ CLOCK ボタンを押して、時刻を確定する。

- 通常モードに戻り、時計が動き始めます。



お知らせ

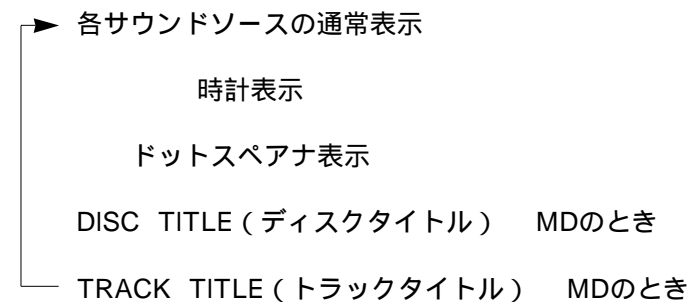
- 電源が切れているときは、時計調整できません。
- MDタイトルを“SCROLL OFF”にして表示しているときは、時計調整できません。(P.54 参照)

時計を表示する (表示を切り替える)

文字表示部に時計やMDタイトルを表示することができます。

DISP ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、文字表示部が次のように切り替わります。



お知らせ

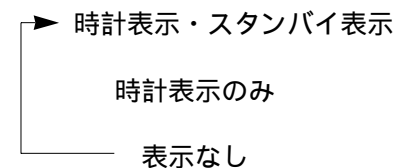
- 時計を調整していないときは、時計表示のときに“ADJUST”と表示されます。
- タイトル情報が記録されていないMDのときは、“NO TITLE”と表示されます。
- ラジオ・CD・テープ・AUX IN・DVD INのときは、MDタイトルに切り替わりません。

電源が切れているときに時計を表示する

本機の電源が切れているときも、時計を表示することができます。

電源が切れているときに、DISP ボタンを押す。

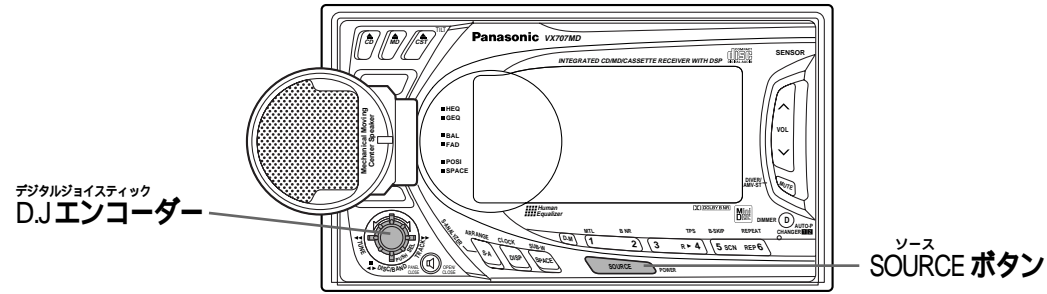
- ボタンを押すごとに、次のように切り替わります。



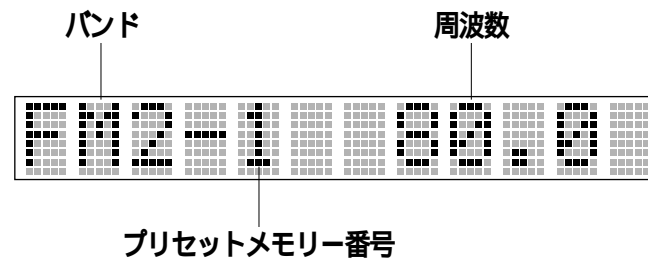
お知らせ

- 時計を調整していないときは、時計表示のときに“ADJUST”と表示されます。

ラジオを聴く



ラジオ (TUNER) の通常表示



お知らせ

文字表示部は、時計表示に切り替えることができます。(P.19 参照)

サウンドソースをラジオ (TUNER) にする

SOURCE ボタンを押して、“TUNER” に切り替える。

- ラジオを受信します。

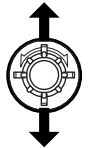


バンドを選ぶ

D.Jエンコーダーを上下に倒す。

- 倒すごとに、次のように切り替わります。
- FMステレオ放送を受信すると、STインジケーターが点灯します。

↑ (FM) : FMバンドが切り替わる。 FM1 FM2
 ↓ (AM) : AMバンドが切り替わる。 AM1 AM2



* リモコンでは BAND ボタンを押します。

放送局を選ぶ

手動選局 (順送り)

D.Jエンコーダーを左右に倒して、TUNE < または TUNE > を押す。

- ◀ (TUNE <) : 周波数が、順送りで下がる。
- ▶ (TUNE >) : 周波数が、順送りで上がる。



お知らせ

周波数は、D.Jエンコーダーを回して選ぶこともできます。(P.51参照)

自動選局 (シーク)

D.Jエンコーダーを左右に倒して、TUNE < または TUNE > を0.5秒以上押す。

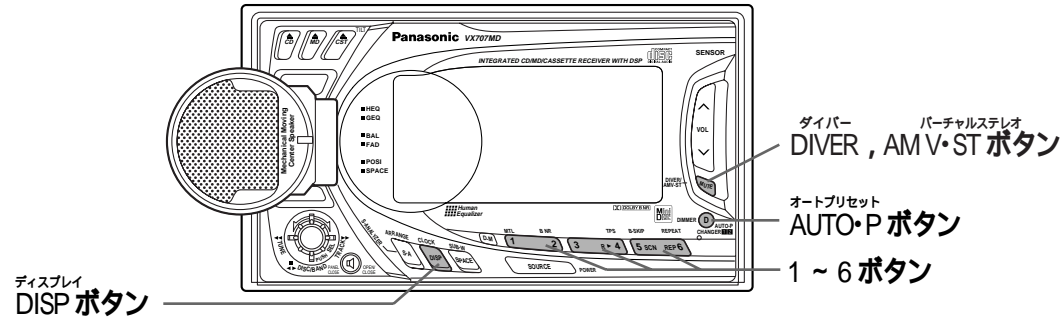
- ◀ (TUNE <) : 周波数が、早送りで下がる。
- ▶ (TUNE >) : 周波数が、早送りで上がる。

- ボタンをはなした時点でシークを始め、放送局があるところで止まります。



0.5秒以上押す

ラジオを聴く (つづき)



放送局をメモリーする

手動メモリー (プリセットメモリー)

現在受信している放送局を、手動で1 ~ 6 ボタンにメモリーすることができます。(バンドごとに6局まで可能)

操作パネルの 1 ~ 6 ボタンの何れか一つを、2秒以上押す。

- 現在受信している放送局が、押したボタンにメモリーされます。
- メモリーが完了すると、周波数表示が点滅します。

例)

2秒以上押す

自動メモリー (オートプリセットメモリー)

現在受信しているバンド内で受信状態のよい放送局を一番下の周波数から自動的に探し、受信状態の良い順に1 ~ 6 ボタンにメモリーさせることができます。(バンドごとに6局まで可能)

① **AUTO-P ボタンを 2秒以上押して、放送局をメモリーさせる。**

- 現在のバンド内でシークを始め、1 ~ 6 ボタンに放送局を最大6局まで自動的にメモリーします。
- メモリーが終わると、メモリーされた放送局を約5秒ずつ次々にスキャンします。

例)

2秒以上押す

② **操作パネルの 1 ~ 6 ボタンの何れか一つを押して、聴きたい放送局を選ぶ。**

- スキャンが解除され、選んだ放送局を受信します。

例)

メモリーした放送局を呼び出す

プリセット受信

プリセットメモリーやオートプリセットメモリーした放送局を、ボタン1つの操作で呼び出すことができます。

操作パネルの 1 ~ 6 ボタンの何れか一つを押す。

- 現在のバンドでメモリーされている放送局を呼び出して、受信します。

例)

お知らせ

プリセットメモリーやオートプリセットメモリーをすると前にメモリーされていた放送局が消去され、新しい放送局を上書きします。

FM放送をよりよく受信する

FMダイバーシティアンテナ受信をするには、メインアンテナ・サブアンテナの接続が必要です。

FMダイバーシティアンテナ受信

FMダイバーシティアンテナ受信を“ON”にしておくと、FM放送を2つのアンテナで受信します。メインアンテナの受信感度が悪いときは、自動的にサブアンテナに切り替わります。[初期設定：OFF]

DIVER ボタンを、2秒以上押す。

- ボタンを2秒以上押すごとに、FMダイバーシティアンテナ受信が“ON/OFF”します。
- FMダイバーシティアンテナ受信が“ON”のときは、DIVER インジケーターが点灯します。



AM放送を迫力ある音声で聴く

AMバーチャルステレオ

AM放送を、迫力ある音声で聴くことができます。 [初期設定：OFF]

AM V-ST ボタンを、2秒以上押す。

- ボタンを2秒以上押すごとに、AMバーチャルステレオが“ON/OFF”します。



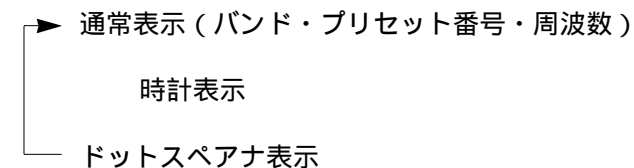
お知らせ

AMバーチャルステレオよりも、SPACE (音場) の設定が優先されます。(P.43 参照)

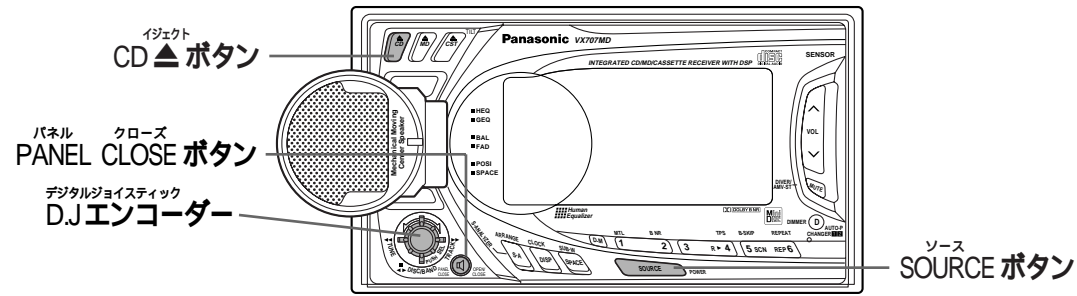
表示を切り替える

DISP ボタンを押す。

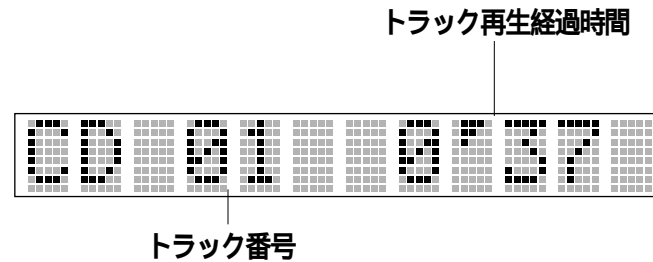
- ボタンを押すごとに、文字表示部が次のように切り替わります。



CDを聴く



CDの通常表示



お知らせ

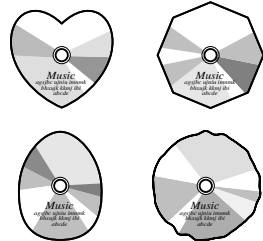
文字表示部は、時計表示に切り替えることができます。(P.23 参照)

特殊形状CDについて

ハート型や八角形など特殊形状のCDは、再生できません。故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。



禁止



⚠ 注意



禁止

可動部に手・指や異物を入れない

可動部に手・指や異物を入れると、けがや故障の原因になります。

CDを挿入する

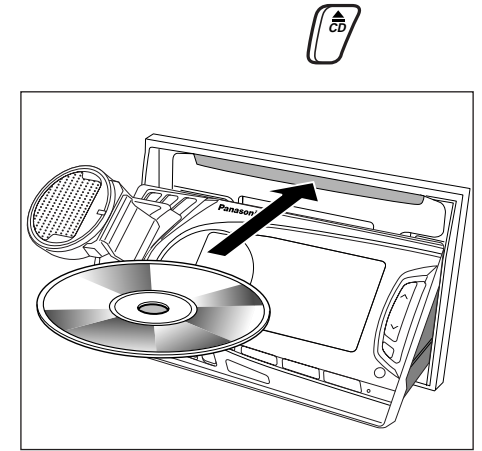
① 操作パネルの CD ▲ ボタンを押す。

- 操作パネルが開きます。(CDが挿入されているときは、イジェクトされます。)

② ラベル面を上側にして、CDを挿入口に差し込む。

- CDの再生が始まります。
- 操作パネルが約10秒後に自動的に全閉し、最後に角度調整した位置まで戻ります。

操作パネルをすぐに閉めたいときは、操作パネルのPANEL CLOSE ボタンを1秒以上押してください。



お願い

- CDの挿入口にMDを入れないでください。
- CDアクセサリとして市販されているプロテクトフィルムやスタビライザーなどを使用すると故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
- 操作パネルを押さえた状態で操作しないでください。

サウンドソースをCDにする

SOURCE ボタンを押して、“CD” に切り替える。

- CDの再生が始まります。

お知らせ

CDが挿入されていないときは、CDモードに切り替わりません。

聴きたい曲を選ぶ

D.J エンコーダーを左右に倒して、TRACK ◀◀ または TRACK ▶▶ を押す。

- ◀ (TRACK ◀◀): 現在再生している曲の頭へ戻る。押すごとに、前の曲を頭出しする。
- ▶ (TRACK ▶▶): 次の曲を頭出しする。

お知らせ

曲は、D.J エンコーダーを回して選ぶこともできます。(P.51参照)

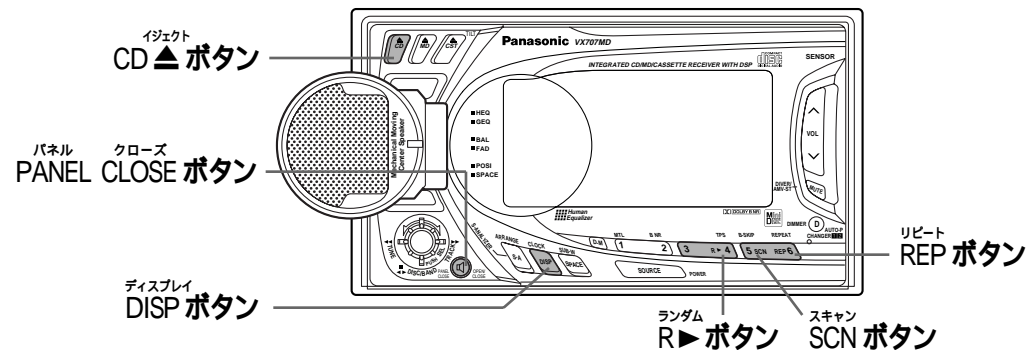
早戻し / 早送りをする

D.J エンコーダーを左右に倒して、TRACK ◀◀ または TRACK ▶▶ を0.5秒以上押す。

- ◀ (TRACK ◀◀): 押し続けている間、早戻しする。
- ▶ (TRACK ▶▶): 押し続けている間、早送りする。



CDを聴く (つづき)



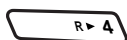
自動的に曲を選ばせて聴く

ランダムプレイ

現在再生しているディスクの中で自動選曲され、規則性のない順番で聴くことができます。[初期設定：OFF]

操作パネルの R▶ ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、ランダムが “ON/OFF” します。
- ランダムが “ON” のときは、R▶ インジケーターが点灯します。



聴きたい曲を探す

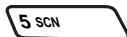
スキャンプレイ

現在再生している曲の次から、ディスクの全曲を、約10秒ずつ次々に聴くことができます。[初期設定：OFF]

操作パネルの SCN ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、スキャンが “ON/OFF” します。
- スキャンが “ON” のときは、SCANインジケーターが点灯します。
- 再生していた曲の前曲までひとまわりスキャンすると解除され、もとの曲の頭から再生が始まります。

聴きたい曲が見つかったときは、もう一度ボタンを押してスキャンを “OFF” します。



同じ曲を繰り返し聴く

リピートプレイ

現在再生している曲を、繰り返して聴くことができます。

[初期設定：OFF]

操作パネルの REP ボタンを押す。

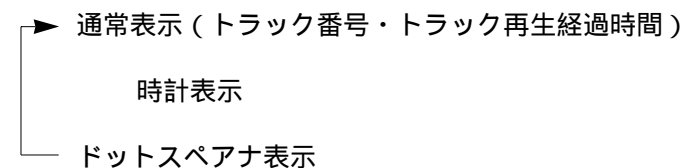
- ボタンを押すごとに、リピートが “ON/OFF” します。
- リピートが “ON” のときは、REPインジケーターが点灯します。



表示を切り替える

DISP ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、文字表示部が次のように切り替わります。



CDを取り出す

操作パネルの CD ▲ ボタンを押す。

- 操作パネルが開き、CDがイジェクトされます。
- CDを取り出すと操作パネルが約10秒後に自動的に全閉し、最後に角度調整した位置まで戻ります。
- CDモードのときは、イジェクト後に電源が切れます。

操作パネルをすぐに閉めたいときは、もう一度 CD ▲ ボタンを押します。ボタンが押しにくいときは、操作パネルの PANEL CLOSE ボタンを1秒以上押ししてください。



注意



禁止

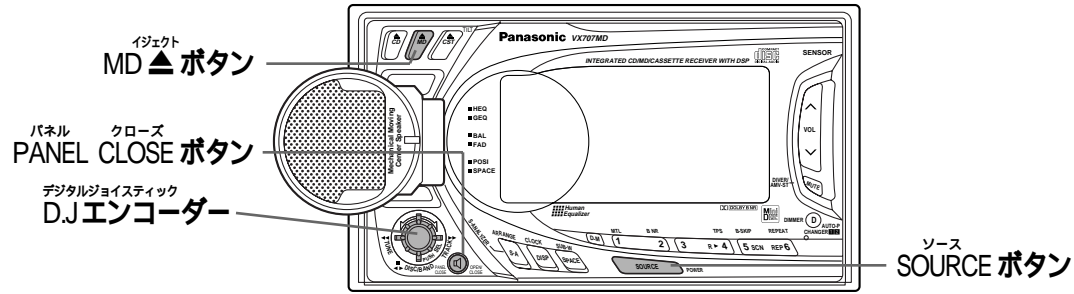
可動部に手・指や異物を入れない

可動部に手・指や異物を入れると、けがや故障の原因になります。

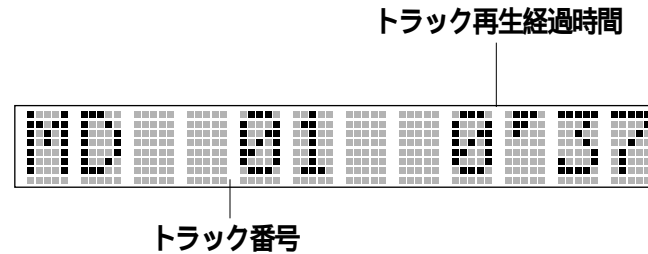
お願い

操作パネルを押さえた状態で操作しないでください。

MDを聴く



MDの通常表示



お知らせ
文字表示部は、時計表示やMDのタイトル表示に切り替えることができます。(P.27 参照)

⚠ 注意



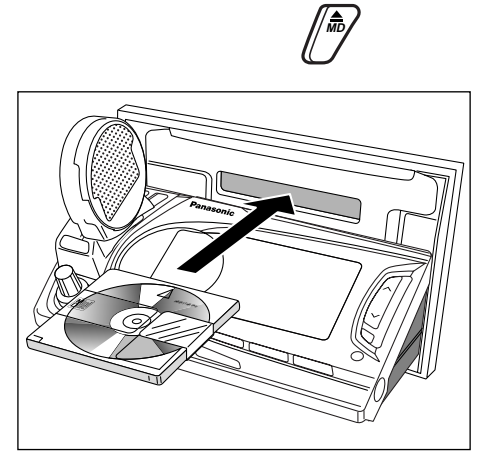
可動部に手・指や異物を入れない

可動部に手・指や異物を入れると、けがや故障の原因になります。

MDを挿入する

- ① 操作パネルの MD ▲ ボタンを押す。
● 操作パネルが開きます。
(MDが挿入されているときは、イジェクトされます。)
- ② ラベル面を上側にして、MDを挿入口に差し込む。
● MDの再生が始まります。
● 操作パネルが約10秒後に自動的に全閉し、最後に角度調整した位置まで戻ります。

操作パネルをすぐに閉めたいときは、
操作パネルのPANEL CLOSE ボタン
を1秒以上押してください。



お願い

操作パネルを押さえた状態で操作したり、開いた操作パネルの上に物を置いたりしないでください。

サウンドソースをMDにする

SOURCE ボタンを押して、“MD” に切り替える。

- MDの再生が始まります。

お知らせ

MDが挿入されていないときは、MDモードに切り替わりません。

聴きたい曲を選ぶ

D.J エンコーダーを左右に倒して、TRACK ◀◀ または TRACK ▶▶ を押す。



- ◀ (TRACK ◀◀): 現在再生している曲の頭へ戻る。
押すごとに、前の曲を頭出しする。
- ▶ (TRACK ▶▶): 次の曲を頭出しする。

お知らせ

曲は、D.J エンコーダーを回して選ぶこともできます。(P.51参照)

早戻し / 早送りをする

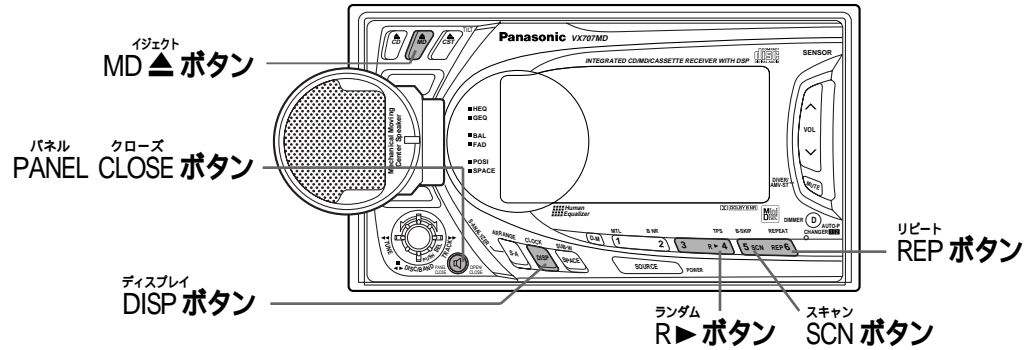
D.J エンコーダーを左右に倒して、TRACK ◀◀ または TRACK ▶▶ を0.5秒以上押す。



- ◀ (TRACK ◀◀): 押し続けている間、早戻しする。
- ▶ (TRACK ▶▶): 押し続けている間、早送りする。

0.5秒以上押す

MDを聴く (つづき)



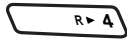
自動的に曲を選ばせて聴く

ランダムプレイ

現在再生しているディスクの中で自動選曲され、規則性のない順番で聴くことができます。[初期設定：OFF]

操作パネルの R▶ ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、ランダムが “ON/OFF” します。
- ランダムが “ON” のときは、R▶ インジケーターが点灯します。



聴きたい曲を探す

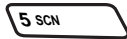
スキャンプレイ

現在再生している曲の次から、ディスクの全曲を、約10秒ずつ次々に聴くことができます。[初期設定：OFF]

操作パネルの SCN ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、スキャンが “ON/OFF” します。
- スキャンが “ON” のときは、SCANインジケーターが点灯します。
- 再生していた曲の前曲までひとまわりスキャンすると解除され、もとの曲の頭から再生が始まります。

聴きたい曲が見つかったときは、もう一度ボタンを押してスキャンを “OFF” します。



同じ曲を繰り返し聴く

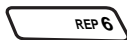
リピートプレイ

現在再生している曲を、繰り返して聴くことができます。

[初期設定：OFF]

操作パネルの REP ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、リピートが “ON/OFF” します。
- リピートが “ON” のときは、REPインジケーターが点灯します。



MDのタイトルを表示する (表示を切り替える)

MDタイトル表示

MDに記録されているタイトル情報を英数字とカタカナで表示することができます。(スクロール時の最大表示：60文字)

DISP ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、文字表示部が次のように切り替わります。



▶ 通常表示 (トラック番号・トラック再生経過時間)

時計表示

ドットスペアナ表示

MD ディスクタイトル

MD トラックタイトル

- ディスクタイトル表示のときは、DISC インジケーター と TITLE インジケーターが点灯します。
- トラックタイトル表示のときは、TRACK インジケーター と TITLE インジケーターが点灯します。

お知らせ

- タイトル情報が記録されていないMDのときは、“NO TITLE” と表示されます。
- MDタイトル表示は、スクロールを止めて、静止させることができます。(P.54 参照)

MDを取り出す

操作パネルの MD ▲ ボタンを押す。

- 操作パネルが開き、MDがイジェクトされます。
- MDを取り出すと操作パネルが約10秒後に自動的に全閉し、最後に角度調整した位置まで戻ります。
- MDモードのときは、イジェクト後に電源が切れます。



操作パネルをすぐに閉めたいときは、もう一度 MD ▲ ボタンを押します。
ボタンが押しにくいときは、操作パネルの PANEL CLOSE ボタンを1秒以上押してください。



⚠ 注意



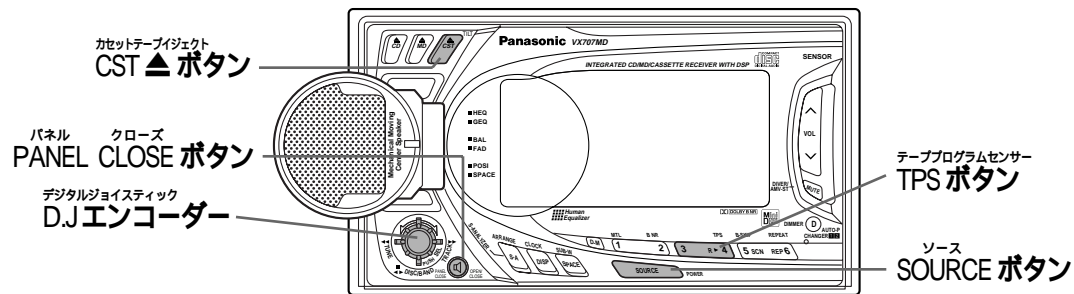
可動部に手・指や異物を入れない

可動部に手・指や異物を入れると、けがや故障の原因になります。

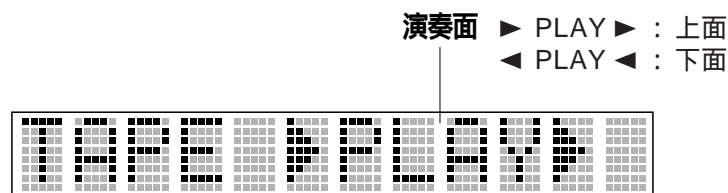
お願い

操作パネルを押さえた状態で操作したり、開いた操作パネルの上に物を置いたりしないでください。

カセットテープを聴く VX707のみ



カセットテープ (TAPE) の通常表示

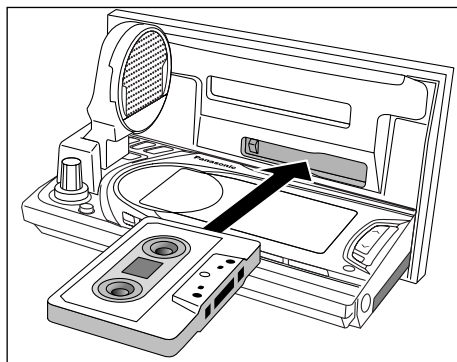


お知らせ
文字表示部は、時計表示に切り替えることができます。(P.31 参照)

カセットテープを挿入する

- ① 操作パネルの CST ▲ ボタンを押す。
● 操作パネルが開きます。
(カセットテープが挿入されているときは、イジェクトされます。)
- ② テープ面を右側にして、カセットテープを挿入口に差し込む。
● カセットテープの再生が始まります。
● 操作パネルが約10秒後に自動的に全閉し、最後に角度調整した位置まで戻ります。

操作パネルをすぐに閉めたいときは、操作パネルの PANEL CLOSE ボタンを1秒以上押してください。



お願い
操作パネルを押さえた状態で操作したり、開いた操作パネルの上に物を置いたりしないでください。

⚠ 注意



可動部に手・指や異物を入れない

可動部に手・指や異物を入れると、けがや故障の原因になります。

サウンドソースをカセットテープ (TAPE) にする

SOURCE ボタンを押して、“TAPE” に切り替える。



- カセットテープの再生が始まります。

お知らせ

カセットテープが挿入されていないときは、TAPEモードに切り替わりません。

演奏面を切り替える

D.Jエンコーダーを下に倒して、◀▶ (PRG) を押す。

- 押すごとに、カセットテープの演奏面が次のように切り替わります。

▶ PLAY ▶ (上面) ◀ PLAY ◀ (下面)

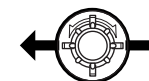
- テープの終端になると、自動的に演奏面を切り替えて再生します。オートリバースシステム



* リモコンでは PRG/■ ボタンを押します。

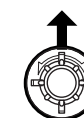
巻戻し / 早送りをする

D.Jエンコーダーを左右に倒して、TRACK ◀◀ または TRACK ▶▶ を押す。



- ◀◀ (TRACK ◀◀) : 巻戻しする (REW)。テープの先頭になると自動的に再生が始まります。
- ▶▶ (TRACK ▶▶) : 早送りする (FF)。テープの終端になると自動的に演奏面が切り替わり、再生が始まります。

巻き戻し / 早送りを解除したいときは、D.Jエンコーダーを上倒して ■ を押します。



* リモコンでは PRG/■ ボタンを押します。

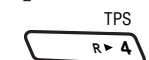
聴きたい曲を頭出しする

TPS

TPS (Tape Program Sensor : テープ プログラム センサー) を “ON” にしておくと、曲間の無音部分を検出して、曲の頭出しができます。
[初期設定 : OFF]

- ① 操作パネルの TPS ボタンを押して、センサーを “ON” にする。

- ボタンを押すごとに、TPSが “ON/OFF” します。



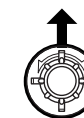
- ② D.Jエンコーダーを左右に倒して TRACK ◀◀ または TRACK ▶▶ を押し、選曲する。

- ◀◀ (TRACK ◀◀) : テープを巻戻して、現在再生している曲の頭へ戻る。押すごとに、前の曲を頭出しする。(最大8曲まで)
● 押した回数分、曲が前に戻ります。



- ▶▶ (TRACK ▶▶) : テープを早送りして、次の曲を頭出しする。(最大9曲まで)
● 押した回数分、曲を次に送ります。

巻き戻し / 早送りを解除したいときは、D.Jエンコーダーを上倒して ■ を押します。

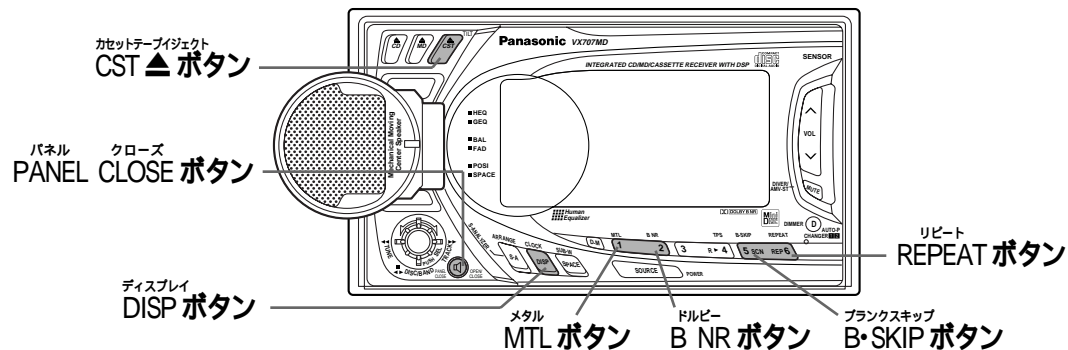


* リモコンでは PRG/■ ボタンを押します。

お知らせ

- 次のような場合、TPSが正常にはたらかないことがあります。故障ではありません。
● カセットテープの曲間の無音部分が4秒未満のとき。
● 曲中に特にレベルの低いところや無音部分があるとき。
● 巻き戻し / 早送りや曲の頭出しは、D.Jエンコーダーを回して操作できます。(P.51参照)

カセットテープを聴く VX707のみ (つづき)



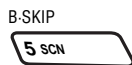
無音部分をとばしながら聴く

ブランクスキップ

曲間やテープ終端の無音部分を自動的に早送りし、次の曲までの間をつめて聴くことができます。[初期設定：OFF]

操作パネルの B・SKIP ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、ブランクスキップが“ON/OFF”します。
- ブランクスキップが“ON”のときは、SKIP インジケータが点灯します。
- ブランクスキップがはたらいっているときは、SKIP インジケータが点滅します。



お知らせ

- 無音部分が15秒未満のときは、はたらきません。
- ブランクスキップとリピートが“ON”になっているときは、リピートが優先されます。

同じ曲を繰り返し聴く

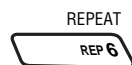
リピートプレイ

現在再生している曲を自動的に巻戻し、繰り返して聴くことができます。

[初期設定：OFF]

操作パネルの REPEAT ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、リピートが“ON/OFF”します。
- リピートが“ON”のときは、REPインジケータが点灯します。
- テープを巻戻しているときは、REPインジケータが点滅します。



メタルテープを聴く

メタルテープ再生

メタルテープやクロームテープを再生するときの機能です。

メタルテープやクロームテープを再生するとき、テープの特性に合った音質で再生します。[初期設定：OFF]

操作パネルの MTL ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、メタルテープ再生が“ON/OFF”します。
- メタルテープ再生が“ON”のときは、MTLインジケータが点灯します。



お知らせ

- ノーマルテープをメタルテープ再生すると、高域周波数のアンバランスを引き起こし、音質に影響します。

ドルビーB NR テープを聴く

ドルビーB NR

ドルビーB NRテープを再生するときの機能です。

ドルビーB NR で録音したカセットテープを再生するときに、「サー」という高音域の雑音（ヒスノイズ）を減らします。 [初期設定：OFF]

操作パネルの B NR ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、ドルビーB NR が“ON/OFF”します。
- ドルビーB NR が“ON”のときは、B NRインジケータが点灯します。



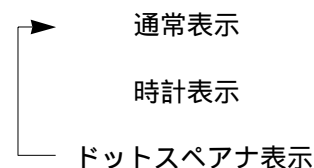
お知らせ

- ドルビーB NRは、TUNERモードでは操作できません。
- ドルビーB NRを使用していないカセットテープをドルビーB NRで再生すると、高域周波数のアンバランスを引き起こし、音質に影響します。

表示を切り替える

DISP ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、文字表示部が次のように切り替わります。



カセットテープを取り出す

操作パネルの CST ▲ ボタンを押す。

- 操作パネルが開き、カセットテープがイジェクトされます。
- カセットテープを取り出すと操作パネルが約10秒後に自動的に全閉し、最後に角度調整した位置まで戻ります。
- TAPEモードのときは、イジェクト後に電源が切れます。

操作パネルをすぐに閉めたいときは、もう一度 CST ▲ ボタンを押します。ボタンが押しにくいときは、操作パネルの PANEL CLOSE ボタンを1秒以上押してください。



⚠ 注意



可動部に手・指や異物を入れない

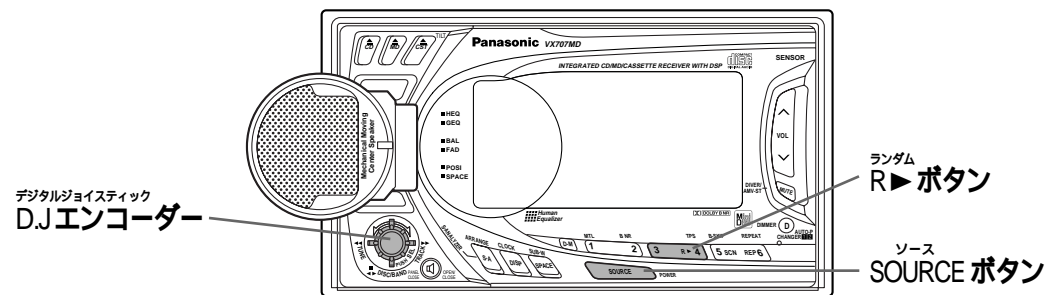
可動部に手・指や異物を入れると、けがや故障の原因になります。

お願い

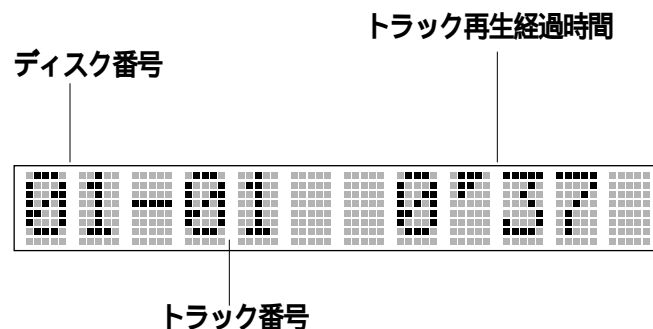
操作パネルを押さえた状態で操作したり、開いた操作パネルの上に物を置いたりしないでください。

チェンジャーでCD/MDを聴く

- 別売のCDチェンジャー（CX-DP801D / CX-DP1203D等）またはMDチェンジャー（CX-MD6D）の接続が必要です。
- 別売のツインCDチェンジャーコントロールユニット（CA-LA9D）をご使用になると、2台のCD/MDチェンジャーを接続できます。 ツインチェンジャー



チェンジャー（CHANGER）の通常表示



お知らせ
文字表示部は、時計表示やMDのタイトル表示に切り替えることができます。（P.35 参照）

サウンドソースをチェンジャー（CHANGER）にする

SOURCE ボタンを押して、“CHANGER” に切り替える。



- ディスクの再生が始まります。

お知らせ

- チェンジャーが接続されていないときやチェンジャーにマガジンが入っていないときは、CHANGERモードに切り替わりません。
- マガジンの中にディスクが1枚も入っていないときは、ディスプレイに“NO DISC”と表示されます。
- 電源が切れているときは、チェンジャーにマガジンを入れると電源が入ります。他のサウンドソースのときは、CHANGERモードに切り替わって再生が始まります。

聴きたいディスクを選ぶ

D.Jエンコーダーを上下に倒して、DISC または DISC を押す。

- ↑（DISC ）：次のディスクに替わる。
- ↓（DISC ）：前のディスクに替わる。



聴きたい曲を選ぶ

D.Jエンコーダーを左右に倒して、TRACK ◀◀または TRACK ▶▶ を押す。

- ◀◀（TRACK ◀◀）：現在再生している曲の頭へ戻る。押すごとに、前の曲を頭出しする。
- ▶▶（TRACK ▶▶）：次の曲を頭出しする。



お知らせ
曲は、D.Jエンコーダーを回して選ぶこともできます。（P.51参照）

早戻し / 早送りをする

D.Jエンコーダーを左右に倒して、TRACK ◀◀または TRACK ▶▶ を0.5秒以上押す。

- ◀◀（TRACK ◀◀）：押し続けている間、早戻しする。
- ▶▶（TRACK ▶▶）：押し続けている間、早送りする。

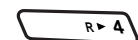


自動的に曲を選ばせて聴く

トラックランダムプレイ

チェンジャーに入っているすべてのディスクの中で自動選曲され、規則性のない順番で聴くことができます。 [初期設定：OFF]

操作パネルの R▶ ボタンを押す。

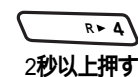


- ボタンを押すごとに、トラックランダムが“ON/OFF”します。
- トラックランダムが“ON”のときは、TRACK インジケータと R▶ インジケータが点灯します。

ディスクランダムプレイ

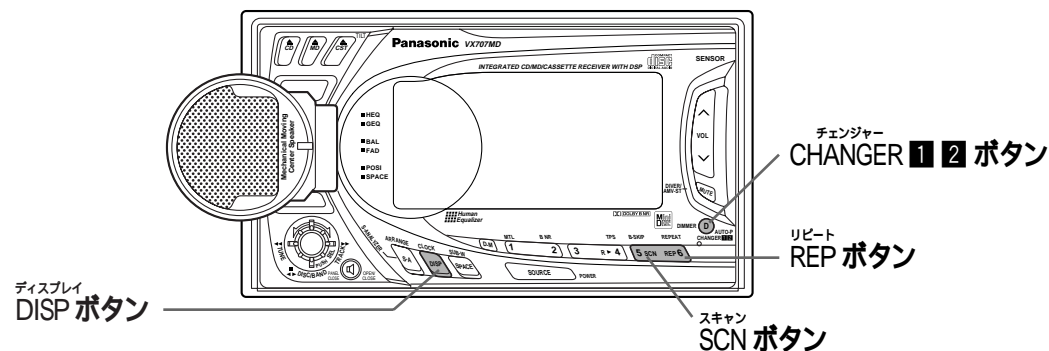
現在再生しているディスクの中で自動選曲され、規則性のない順番で聴くことができます。 [初期設定：OFF]

操作パネルの R▶ ボタンを2秒以上押す。



- ボタンを2秒以上押すごとに、ディスクランダムが“ON/OFF”します。
- ディスクランダムが“ON”のときは、DISC インジケータと R▶ インジケータが点灯します。

チェンジャーでCD/MDを聴く (つづき)

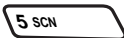


聴きたい曲やディスクを探す

トラックスキャンプレイ

現在再生している曲の次から、ディスクの全曲を、約10秒ずつ次々に聴くことができます。[初期設定：OFF]

操作パネルの SCN ボタンを押す。

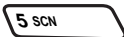


- ボタンを押すごとに、トラックスキャンが“ON/OFF”します。
 - トラックスキャンが“ON”のときは、TRACK インジケータと SCANインジケータが点灯します。
 - 再生していた曲の前曲までひとまわりスキャンすると解除され、もとの曲の頭から再生が始まります。
- 聴きたい曲が見つかったときは、もう一度ボタンを押してスキャンを“OFF”します。

ディスクスキャンプレイ

現在再生しているディスクの次から、チェンジャー内の全ディスクの1曲目だけを、約10秒ずつ次々に聴くことができます。[初期設定：OFF]

操作パネルの SCN ボタンを 2秒以上押す。



- ボタンを2秒以上押すごとに、ディスクスキャンが“ON/OFF”します。
- ディスクスキャンが“ON”のときは、DISC インジケータと SCANインジケータが点灯します。
- 再生していたディスクの前のディスクまでひとまわりスキャンすると解除され、もとのディスクの頭から再生が始まります。

聴きたいディスクが見つかったときは、もう一度ボタンを押してディスクスキャンを“OFF”します。

同じ曲やディスクを繰り返し聴く

トラックリピートプレイ

現在再生している曲を、繰り返して聴くことができます。[初期設定：OFF]

操作パネルの REP ボタンを押す。

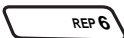


- ボタンを押すごとに、トラックリピートが“ON/OFF”します。
- トラックリピートが“ON”のときは、TRACK インジケータと REPインジケータが点灯します。

ディスクリピートプレイ

現在再生しているディスクを、繰り返して聴くことができます。[初期設定：OFF]

操作パネルの REP ボタンを 2秒以上押す。



- ボタンを2秒以上押すごとに、ディスクリピートが“ON/OFF”します。
- ディスクリピートが“ON”のときは、DISC インジケータと REPインジケータが点灯します。

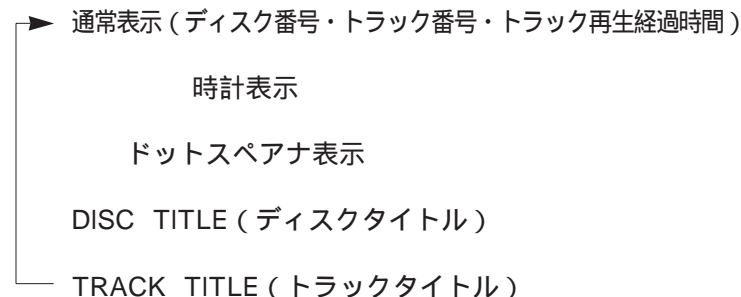
MDのタイトルを表示する (表示を切り替える)

MDタイトル表示

MDに記録されているタイトル情報を英数字とカタカナで表示することができます。(スクロール時の最大表示：60文字)

DISP ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、文字表示部が次のように切り替わります。



- ディスクタイトル表示のときは、DISC インジケータと TITLE インジケータが点灯します。
- トラックタイトル表示のときは、TRACK インジケータと TITLE インジケータが点灯します。

お知らせ

- タイトル情報が記録されていないMDのときは、“NO TITLE”と表示されます。
- MDタイトル表示は、スクロールを止めて、静止させることができます。(P.54 参照)

2台のチェンジャーを切り替える

ツインチェンジャー

別売のツインCDチェンジャーコントロールユニット(CA-LA9D)を使用してCD/MDチェンジャーを2台接続しているときの機能です。

CD/MDチェンジャーを2台接続すると、チェンジャーの切り替えができます。[初期設定：CHANGER 1]

CHANGER 1 2 ボタンを2秒以上押す。

- ボタンを2秒以上押すごとに、2台のチェンジャーが切り替わります。



CHANGER 1

CHANGER 2

お知らせ

- チェンジャーが接続されていないときやチェンジャーにマガジンが入っていないときは、切り替わりません。
- ツインCDチェンジャーコントロールユニット(CA-LA9D)にチェンジャーを1台しか接続しない場合には、CHANGER 1 に接続してください。
- チェンジャーを2台接続していて修理等で1台はずしたときに操作できない場合は、もう片方に接続し直してください。(CHANGER 1 に接続時 2 に接続し直す。/CHANGER 2 に接続時 1 に接続し直す。)